

きいて・めもして・こたえよう

点字ブロックの 話 (ふくし学習)

なまえ
名前

聞くめあて 点字ブロックの「種類とその意味」と、気をつけたい「マナー」を、分けてメモしましょう。

おとさない言葉：種類・意味・気をつけること

放送が終わったら、開いて問題に答えましょう。

(1) 点字ブロックは、どんな人のためのものかと言っていましたか。

(2) 丸い点があったらブロックは、どんな合図ですか。

(3) 点字ブロックについて、気をつけたいこととして正しいものはどれですか。○をつけましょう。

ア 上に荷物やじてん車を置かない

イ 上を走ってわたる

ウ 色をぬりかえる

(4) 点字ブロックやふくしについて、もっと知りたいことを、一つ「しつもの文」で書きましょう。

すすめ方

- ① 中央の点線で山折りにして、「メモ」の面だけを表にする（問題を先に見せない）。
- ② この放送文を先生が読む（または用意した音声流す）。読む回数：2回。聞きながらメモを取らせる。
- ③ 放送が終わったらプリントを開き、メモを見ながら問題に答えさせる。

放送文

今日は、ふくしについて学びます。みなさんは、道にある黄色いでこぼこした板を見たことがありますか。あれは「点字ブロック」といって、目の不自由な人が、安全に歩くための大切なものです。

点字ブロックには、二つの種類があります。一つは、丸い点がならんだブロックです。これは「ここで止まって、気をつけて」という合図です。もう一つは、線がのびたブロックで、「この向きに進んでよい」ことを表します。

わたしたちが気をつけたいことがあります。それは、点字ブロックの上に、荷物やじてん車を置かないことです。ブロックがかくれてしまうと、目の不自由な人が、道にまよってしまうからです。

点字ブロックは、みんなが安心してくらすための、大切なくふうです。町の中で見つけたら、その意味を思い出してみてくださいね。

メモのれい

点字ブロックの話（ふくし学習）

だれのため：目の不自由な人が安全に歩くため

種類：①丸い点＝止まって気をつけて②線＝この向きに進んでよい

マナー：上に荷物・じてん車を置かない（かくれると道にまよう）

こたえと かいせつ

（1）目の不自由な人（が安全に歩くため）

「目の不自由な人が、安全に歩くための大切なもの」と言っていました。

（2）「ここで止まって、気をつけて」（という合図）

丸い点のブロックは「止まって、気をつけて」、線のブロックは「この向きに進んでよい」という意味でした。

（3）ア（上に荷物やじてん車を置かない）

「点字ブロックの上に、荷物やじてん車を置かないこと」と言っていました。かくれると道にまよってしまうからです。

（4）（例）点字ブロックは、どこにありますか。／ほかに、目の不自由な人のためのくふうはありますか。

ふくしに関係する「たずねる文（～ですか。）」になっていれば正解です。